

南浦小学校のシンボルとして  
50年間頑張ってくれたフェニックス  
「ありがとう」そして「さようなら」

フェニックスありがとうの会 10月17日



昨年秋から、葉を落とし始めた南浦小学校の玄関両脇のフェニックス。春を待っても新しい芽を吹くことはありませんでした。大変残念ではありますが、このままだと倒れる危険があることから、伐採されることになりました。

古い記録を調べてみると、昭和47年にそれまでの木造校舎に代わって現在の校舎が完成しました。校舎の完成から間もなくフェニックス2本が植えられていることが分かりました。当時の写真を見てみると、大人の背丈くらいの大きさでした。50年間で校舎の3階にも届く大きさへと成長している南浦小学校のシンボルとのお別れは、子どもたちだけでなく、地域の方々にとっても心を揺さぶられる思いがありました。

子どもたちは、1週間前から、「ありがとうの会」の計画をし、横断幕をつくったり、フェニックスへの感謝状や寄せ書きを用意したりしました。「ありがとうの会」の中では、フェニックスに成り代わり校長が感謝状を受け取りました。

最後は、フェニックスに南浦小学校の校歌を贈り、感謝をもってお別れをすることができました。



フェニックス伐採  
10月22日

休日のため、見ることのできなかつた伐採の様子をお伝えします



大きなクレーンがやって来ました

根元をチェーンソーで切ります

クレーンで吊り下げて運びます



そっと地面に下ろします

ぼろぼろと崩れていきま



太い幹も切るのに一苦労です

大きな切り株 根が地中深くしっかり張っているので掘り起こすことができません



日暮れまで作業は続きました。

最後まで丁寧に作業をしてくださる方々と一緒にフェニックスは静かに去って行きました

